

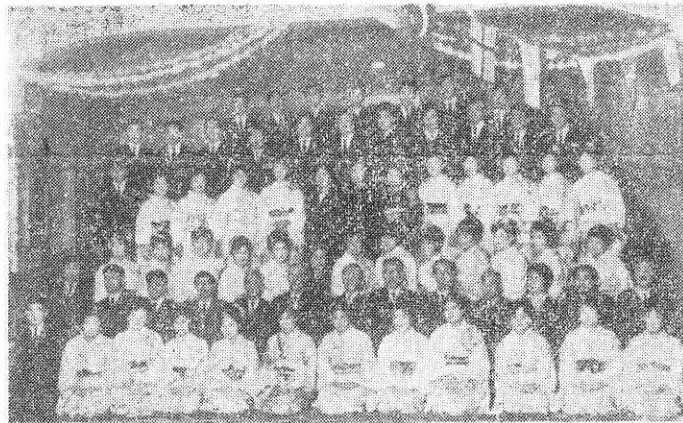
昭和41年2月10日
阿仁町役場総務課
阿仁合印刷所

広報阿仁

40号

二月のこよみ

6日 消防団長推せん会
9日～17日 町民税の申告
10日 広報発行
11日 選挙管理委員会
14日 国体スキー出場者激励会
21日 臨時町議会
21日～25日 税差押処分執行



明日をめざして若い群

成人おめでとう

今年の成人者は全国で一五〇万、阿仁町でも一八六名（男九四、女九二）の若者が社会に飛び立つことになりました。終戦の年、波乱に満ちた昭和二〇年に生を受けた若者達も今では立派に成長し、職場や家庭において

その若さをたぎらせています。未来に無限の可能性を持つ若者に心から祝福と激励を贈りましょう。

今年の成人式は、成人の日、一月十五日に公民館で行なわれました。当日は折からの寒さにもめげず成人者は元気な姿を見せ、福島助役、中島教育委員長が成人者にお祝いの言葉をのべ、成人会代表の奈良博さんと

社会に巣立つ

二〇四号

一八六名

が一八六枚の成人証書を、工藤加代子さんが記念品をそれぞれ助役から受けとりました。又各来賓からお祝いや励ましの言葉の後、幸屋渡の松橋賢悦さんが答辞をのべ、成人者の感想として、松橋鉄明さん（比立内

）、西根茂さん（下新町）高麗喜美さん（戸島内）、片山里子さん（水無）よりそれぞれ発表がありました。お祝いの赤飯で昼食の後「職業と政治」と題して、秋大教授の菊地臣平先生の記念講演があり、更に阿小

渡校長先生の司会で「これからの青年の役割」というテーマで座談会が行なわれました。后三時の式典終了後、成人者によるフオークダンス、ゲームの集いで意義ある一日の幕を閉じました。

若い声



役場勤務

松橋賢悦

昭和二十年、終戦の年に初声を上げた僕も、どうやら成年の仲間入りをすることが出来た。周囲の人達から「オメデトウ」「コレカラデスシツカリヤリナサイ」と祝福の言葉を浴びる。全くうれしい、心から「ありがとうございます」とお礼を言いたい。

成人になって一番先に何を考えたか、と、どこでも、誰にでも話かけられるが、ただ、今まで積み重ねて来たいろいろな知識や教養を土台にして胸中ひそかに期していることを一段と強め、それを充実させようという決意の方が、私達成人する仲間の気持ではないだろうか。成人したから新しいものをやろうとするこ

とも結構なことかも知れないが、まず、今、自分で考えていることを確実に実行することが、賢明ではないかと思えます。人間はこの世に生まれてこの様であつて欲しいと思うことが、あまりにも多いように考えられる。僕はまだ、若い、一度に何でもかむしやりにやらず、じっくり構え、一つ一つ実のあるものにしていくような心がけたいと思う。

成人証書に心身共に健全な成年に達したことを……とありましたが、身体は健全であるが心は……と考へてみる時、恥づかしいような気がする。心が健全になることはなかなかむづかしいことだと思ふからです。それに

は、世の中は何か常なる飛鳥川きうの淵そぎようは瀬になる」とか漱石の草枕の中の

知に仿げばかどが立つ情にさおさせば流される。

住みにくい……という変動の激しい人の世で生きて行くには、やつぱり健全な心が最も大切だと思ふ。だからそれにまで達しなくても、少しでもそれに近いものになれと言ふ事を意味してその証書を授与してくれたのだと思つて、これからの日々を、少しでも健全な心の持主になれるよう生き続けたいと思ふます。

新成人アンケートより

成人に思う

今年成人になられた方よりその抱負として、アンケートを願いましたところ、松橋賢悦さん(幸屋渡)、湊昭子さん(荒瀬)よりそれぞれ、男女代表の形でいただきましたので紹介します。

◎成人としてズバリ感想を「ホットした気持の反面ウカウカしてられない、これから努力しなければと感じた。」(松橋)

「大人として認められた嬉しさ、反面、選挙、結婚生活と重要なことを思うと不安にさえ思う」(湊)

以下順同

◎選挙権の行使について、「自分の考えと、政策、人柄を照らし、又日常の行動に誠意のある人」

「今まで以上に政治に目を向け、正しい考え方の下に責任を果たしたい」

◎基幹産業としての農業の在り方を

「零細農家が多すぎる。若人に夢をもてる農業政策を講じてほしい」

「政府の補助により農家

経営がしやすい体制づくりと、農産物の価格安定策が必要と思う」

◎ベトナムと日韓条約についてどう考えるか、

「日韓条約によつて日本がベトナム戦争にまき込まれはしないかと心配だ」

「戦争はやめてほしい、日本はあくまでも自主的な態度で、世界平和に貢献すべきであると思う」

◎あなたの人生観、社会観は、
「最もむづかしいこと、

明年度の地方財政



助役 福島吉五郎

(3) 事業がふえてきている。

昭和41年度地方財政は、端的にいって急迫の状態にあり、昭和30年前後の苦しさに較べると、「そう深刻であるといわれています。前には国の援助をうけることが出来たが今は国も国債でぎりぬけしている状態であり、加えて、

- (1) 諸物価が高くなつてきた。
- (2) 人件費が急激にのびてきた。

それは人間らしく生きることでないかと思う、毎日を怠ることなく少しでも人間らしくと、そういう自信はあるつもりです」

「明るく豊かで温かい家庭造り。青年らしい純情と情熱を失わず、理想実現のための学習を。自己の責任を果たし人々との協調により毎日の生活を充実させたい」

◎郷土愛から町政に対する意見をズバリ、

「景勝地を宣伝し、観光阿仁の開発等により、阿仁町の利益を生むように」



成人の日

あな人生の第一歩
まじいひの道程を

給与改正など可決

一月臨時町議会

1月19日の臨時町議会で職員給与改正とそれに伴う各会計の補正予算等10件と陳情請願7件が審議されました。

△職員給与条例改正
国家公務員に準じた給与改定と、通勤手当の改定

△職員報酬等の条例改正
職員の給与条例の一部改正に準じて議員の期末手当も0、1月分引きあげられました。

△共有土地の持分交換
小淵字家の上92の原野7町1反20歩と小淵字山ノ内65の原野4町5反5畝2歩の前田財産区と阿仁合財産区の共有地をそれぞれ小淵字家の上92を阿仁合財産区有に、小淵字山ノ内65を前田財産区有に持分を交換しました。

△大阿仁財産区有土地処分の決議変更
既に処分を受けていた戸

議会だより

- 1、公民館振興充実に関する陳情
- 2、尾去沢製煉所廃止に関する陳情

△委員会付託
次の陳情請願5件は何れも関係委員会に審査が付託されました。

- 1、阿仁合中学校道路補修に関する陳情(土木委)
- 2、阿仁町上新町上町道路の補修に関する陳情(土木委)
- 3、町道編入並びに道路拡幅に関する陳情(土木委)
- 4、車道開設に関する請願(土木委)
- 5、道路開設に関する請願(土木委)

以上が審議され会期は一日で終了しました。

入植者募集

八郎 湯子 拓

吾が国における、モデル農業をめざして八郎湯子拓への入植者をいよいよ本年六月から公募することになりました。現在考えられている経営の方式は、高度な機械化と、直播方式であり、経営面積は一戸当り、一〇町歩、七町五反歩、五町歩と三段階があり入植者の希望によつて、土地の配分を受けることが出来ます。ただこの配分を受ける面積の大小によつて、入植する時に持参する金の額に差があり、十町歩では百四〇万円七町五反歩では百十五万円五町歩では九〇万円となっております。

甘い考え方でなく、新天地に骨を生めるといふ気が必要です。

募集は本年の六月から四十六年までに一三四九戸を入植させる計画で行はれますが、今後の募集計画は大体次の日程で行はれます。

入植希望者については色々細かい調査があり、書類手続きも必要ですから、なるべく早目に役場経済課へ御出での上所定の準備を整えて下さい。

五つの誓い

秋田県警察では、県民の皆さんの明るい平和な暮らしを守るため「五つの誓い」をすすめております。

今年も次のような目標をたてております。

○願届や困りごとには親身になつて応じます。

○交通事故から人命を守ります。

○少年の非行を防止します
○届出られた犯罪と悪質知能犯罪は徹底的に検挙します。

○迷惑行為と暴力を根絶します。をスローガンに前進しました。皆さんの協力、ご支援のほどをお願いします(阿仁派出所提供)

募集日程

年度	月	旬	項目
41年度	6	上	土地配分計画に基づく募集公告
	7	上	入植申込み締切り
	8	下	面接試験(選定調書作製)
	10	下	入植者の決定(配分通知書の送付)
	11	上	訓練所へ入所(訓練開始)
42年	10	下	訓練終了
43年	11	上	入植
	4	上	入植1年目の耕作開始

ねらわれる若い芽



月末より差し押さへ 税の完納を呼びかける

町では数年来税務行政の確立を目指し、連年納入成積を上げていたが、今般一部の悪質滞納者のいっそうと納期内納入の徹底を期する為に、県当局の財務事務所員派遣による強制執行を実施する事になった。

尚、税務課ではこの差押さえを執行するに当り、「町では皆様から経費(税金)を負担していただき、よりよい福利福祉の増進に努めておるものであり、昔も今も義務として変りないこの大事な税金を滞納している方も一部に見受けられる事だ。」と、催告状に

事とは、本当に残念であり一人でも不名誉な者は出したいくないと念願しております。従がつて趣旨を察の上一日も早く積極的な完納するように」と。催告状により警告し完納を呼びかけている。(税務提供)

試験案内

測量士、測量士補

昭和四十一年度の測量士、測量士補の試験は四月二十四日秋田市を含む全国十九の都市で行はれます。この試験は測量法に定められた測量士又は測量士補となるのに必要な専門的知識及び応用能力又は専門的技術を有するかどうかを判定するためにに行ない、試験に合格した者には測量士又は測量士補となる資格が与えられます。願書受付期間は二月一日から二月二十五日まで、郵送の場合は二月二十五日付けの消印の有るものまで受付られます。願書は秋田県庁内土木部監理課にあります。

皆さんありがとう

「才末たすけあい運動」に対する礼状
去る十二月「才末たすけあい運動」を展開し、町民各位様の絶大なる御協力により多大の成果を挙げた其の結果を「民生課だより」(41、1、7発行)を以つて周知致しました処でございますが、数々の御礼状をいただいている中で入院中の方から寄せられた

一文を、次に御紹介致しますと思います。
「明けましておめでとうございませう。町長様はじめ皆様様にはお変わりもなく新年をお迎え遊ばしました御事と御喜び申し上げます。旧年中は色々御厄介になりました上又年末には多大なる御見舞金を頂戴致しまして有難うございました。以前はこんなに寒いのに、なぜ年とりをしたり、お正月を迎えたりするのだらうかと、不審に思う事もありましたが今はその反対で、子供のように年末やお正月を待つてゐるような仕度です。今年もより良きお年を

お迎え遊ばす様御祈りして居ります。気ままな病人の事として御礼状もおそくなりましてほんとうにすみません。民生委員や婦人会の皆さんそして町の皆さんによりしくお伝ひ下さい。」(原文のまま)
才末たすけあい募金による総額は一六八、八二〇円でした(民生課だより既報)

善意

たくさんのお贈りもの

養老院、保育所

▽ 文明の進歩は、人間生活を文化的に豊かなものにした反面、人々の心から人間らしさを失わせています。毎日暗い▽ ニュースに明け暮れている昨今。底辺で恵まれない暮らしをしている人々に▽ 善意の贈りものがたくさん届けられた△ という心あたたまるお話しをお届けします。△

四ツ葉クラブ

昭和三十八年の十月、山々が紅く色づき始めたある日、養老院に無名の方から一通の手紙が届けられた。中には「お年よりの方に何かしらのお足しに」という文面と、お金と同封されておりました。養老院ではどこかの特別な方の善意として有難く頂戴した。弥来、あしかけ三年、この善意の便りは毎年のようにある時は三〇〇円、ある時は四〇〇円と今日まで続けられている。毎年一定の時期になると、養老院ではたくさんの人から慰問や贈り物を受けています。毎月のように続く無名の方の善意にぜひお礼をと差出人を紹介したところとく名であつたためそれが出来ず、消印が米内沢であることから、各方面の協力

により調査の結果、昨年の春、ようやくその方が米内沢郵便局の交換手である、ということがつぎとめることが出来た。しかし善意の方は決して名前を出そうとせず、ただ「四ツ葉クラブ」と云うだけでした。養老院では早速「四ツ葉クラブ」の皆さんに厚くお礼申しあげ、善意の方が判つて養老院のおとしりの皆さんも心から感謝しております。今年も又年末年始にたくさんの方から贈り物や慰問をいただきました。そして二、三日間、善意の手紙が又一通差し出し人がいつもの「四ツ葉クラブ」の名で、「四ツ葉クラブ」の皆さん。有難うございます。更に贈り物や慰問を下さった皆さんにも心からお礼申し上げます。」

募集 園児

昭和四十一年度の保育園入所申込みを受けています。申込者は保育園まで。

- 乳児（一〜三才）十四人
- 幼児（三才より）四六人

二月末日まで

保育料は、保護者の四〇年度の納税額によつて定められます。最高額は三〇〇〇円どまりで、くわしくは役場又は保育園へ。尚保育園の入所は、半年ごとに更新されますので現在入所の方もあらためて申し込みの手続きが必要です。

保育所にも

二月三日節分の日、保育所に福豆のプレゼントがありました。贈り主は阿小湊校長先生と石井純子ちゃん（上新町）からで、園児達は大喜びでオニ退治をして節分大会を楽しみました。又下新町湊商店から、たくさんの手袋、足袋、くつ下が寄贈されましたのでお知らせします。

健康診断と

知能テスト（入学）

四月からの新入学児童を対象に左記日程で、健康診断と知能テストを行います

入学する学校名	場所	知能テスト	健康診断
阿小湊小学校	阿小湊小学校	二月二十二日午前十時	午後一時
三枚小学校	阿小湊小学校	二月二十二日午前十時	午後一時
宣草小学校	阿小湊小学校	二月二十二日午前十時	午後一時
荒瀬小学校	阿小湊小学校	二月二十五日午前〇時三〇分	午後一時
大阿仁小学校	阿小湊小学校	二月十六日午前十時	午後一時
中村小学校	阿小湊小学校	二月十五日午前十時	午後二時
中村小学校	阿小湊小学校	二月十五日午前十時	午後二時
伏影小学校	阿小湊小学校	二月十七日午前十時	午後二時
根子小学校	阿小湊小学校	二月二十三日午後一時	午後二時

千葉県からは 福祉協へ

阿仁町真木出身で千葉県市川市濱川化学工業株式会社

阿仁町立老人ホーム全員に高級多物くつ下が新春早々寄贈されました。寄贈主は阿仁町水無出身故庄司恒蔵氏未亡人蝶子さんで、わざわざホームを訪れ慰問寄贈されました。故恒蔵氏は戦前大阪に於て、靴下工業に勤めておつたが、戦後停年退職、大館市に自力で靴下工業所を開業、現在は子息讓氏が母と共に営業してゐる次第、遺族の母子共に、亡父の生れ故郷の、老人ホームの方々が、幾分でも幸せの一助になれば、地下の恒蔵もさぞかし満足してゐるでしょうと語つていた。

年金の支払い

昭和四十一年一月分の福祉年金（老令、障害、母子）が、一月六日より年金証書に記入されている郵便局で支払われておりますから、まだ受給しておられない方は年金証書、印鑑、払戻請求書を持参の上受給して下さい。

慶弔だより

一月――

- ▲ 出生――オメデトウ 佐々木礼子（アサ）荒瀬加賀谷浩幸（利七）
- ▲ 横堀 淑子（忠俊）上新町小林タキ子（幸之助）笑内鈴木孝栄（富五郎）打当高根 信幸（喜人）戸島内▲ 婚姻――しあわせに 芦原 実 水 無 須合 リサ 能代 加賀谷由司 戸島内 田中キミエ 小 様 佐藤 孝昭 幸 屋 高根 喜美 戸島内 鈴木 金吾 打 当 伊東 イネ 打 当
- ▲ 死亡――おくやみ申しあげます。 根田 福治（70）畑町 柴田豊二郎（44）上新町 山田 由吉（78）根子 赤松 富司（84）養老院 中村 カネ（79）康治 柳谷武士郎（41）小淵 中嶋 徹（31）畑町 松橋由美子（0）比立内 佐藤キミエ（4）比立内 佐藤岩治郎（59）比立内